

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

東京電機大学システムデザイン工学部教授会

(責任者名) 前田 英作

(役職名) システムデザイン工学部長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	学内ポータルサイトの出欠管理システムで学生の出欠状況を把握。 また、プログラムで指定した各科目の修得状況の確認を実施。
学修成果	授業アンケートの「授業時間以外の学習時間」「学生の理解度・習熟度に応じた授業の進行」「授業内容の理解・修得」「科目内容への興味・関心」等の項目を中心に分析し、本プログラムの評価・改善に活用している。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	学習成果の項目と同様に、授業アンケートの「授業時間以外の学習時間」「学生の理解度・習熟度に応じた授業の進行」「授業内容の理解・修得」「科目内容への興味・関心」等の項目を中心に分析することで学生の理解度の把握。併せて学生の修得率や成績分布の分析を実施。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	授業アンケートの「教員の教え方」「学生が授業に意欲的に取り組むための工夫」「授業内容の理解・修得」「科目内容への興味・関心」等の項目と自由記述欄(プログラムの良かった点や改善点)を中心に分析し、学生がより意欲的にプログラムを履修する環境を整えていく。履修する学生の増加やプログラム修了者の増加に伴い、学生から後輩等の他の学生への推奨度も増加していく予定である。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	令和6年度開始のプログラムのため、履修者数、履修率については、今後向上していく予定であるが、学生への継続的な周知も行っていく。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	令和6年度開始のプログラムのため、現時点でプログラム修了者がいないため、進路・活躍状況・企業等からの評価を行う段階に至っていない。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	多数在籍している産業界出身の教員を活用し、産業界からの視点を意識した教育プログラムの開発を検討中である。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	数理・データサイエンス・AIは産業分野・学術分野すべてに関わることを理解する。 数理・データサイエンス・AIを深く理解し、さらに進化させるための知識を学ぶことにより、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を理解する。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	授業アンケートの結果を分析し、「授業時間以外の学習時間」「学生の理解度・習熟度に応じた授業の進行」「授業内容の理解・修得」「科目内容への興味・関心」等の項目に加え、自由記述欄も分析し、「分かりやすさ」という観点からもプログラムの改善を行う。